

## 入級から終了までの流れ

- 1 通級指導教室での指導をご希望の際には、担任の先生にご相談ください。学校を通して教育委員会に相談となります。  
\*担任の先生にご相談の上、見学にいらしてください。
- 2 専門の委員会が開かれ、通級による指導が必要が判断が行われます。
- 3 本人や保護者に通級への希望があり、通級での教育方針に同意できるかどうか確認をします。
- 4 保護者・学校と確認をした上で、指導日を決定し、指導内容を本人・保護者・学校の意向を踏まえて計画します。
- 5 通級指導(個別の指導計画に基づいたもの)がはじまります。  
(1)「自立活動」に必要な個別の指導内容を指導する  
(2)必要に応じて各教科の内容を補充する
- 6 通級指導の終了  
通級での目標が達成され、学校と家庭で対応できるようになると、通級の定期指導を終了します。指導終了後も、必要に応じて適宜対応していきます。



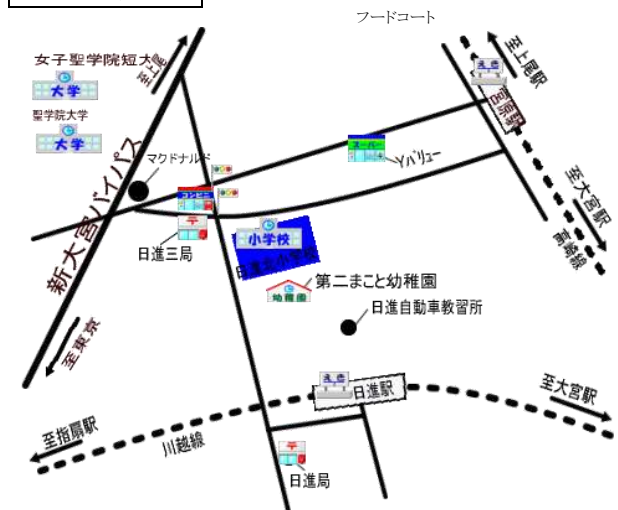
一人ひとりの子どもに合わせた指導方法によって、主に学校で抱えている困難の軽減を目指します。

## ☆かがやき教室の時間割について

	月	火	水	木	金
8:50~10:20	○	○	△	○	○
10:45~12:15	○	○	△	○	○
13:30~15:00	○	○	△	○	○
15:15~16:45		○	△	○	○

- 1回の指導時間は90分。子どもへの指導および保護者面談です。
- 児童の実態に応じて、個別やグループ指導を行います。
- △は、在籍校訪問や研修などを行います。
- 通級指導教室へは、事故防止のため、保護者の方による送迎を基本とします。

## ☆学校案内図



一人で悩まないで、家庭、学校通級教室、関係機関など、みんなで相談しながら子どもを支えていきましょう。



## さいたま市

### 発達障害・情緒障害通級指導教室



## かがやき教室



さいたま市立日進北小学校

さいたま市北区日進3-178

電話 048-663-1842(代)

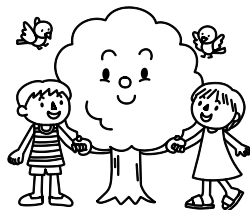
FAX 048-663-9884

## 「かがやき教室／はばたき教室とは」

さいたま市では、小学校の発達障害・情緒障害通級指導教室を「かがやき教室」、中学校を「はばたき教室」とよんでいます。

通常の学級において日常生活や集団参加、一部特別な教育的配慮を要する児童生徒に、よりよい学校生活がおくれるよう支援していくために設置された教室です。

児童生徒の多くの可能性を信じ、一人ひとりの健やかな成長をサポートしていきます。



## 対象となる児童生徒

通常の学級の学習におおむね参加できるが、一部特別な指導を必要とする児童・生徒です。

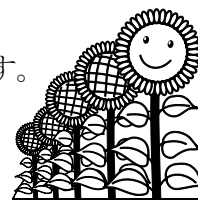
- ・落ち着きがなく集団参加が苦手な子
- ・特定のものに強いこだわりがある子
- ・友だちとのかかわりがうまく持てない子
- ・集団活動が苦手な子
- ・感情の起伏が大きな子
- ・学習の一部が極端に苦手な子
- ・学校など特定の場所でしゃべれない子など

## 指導のねらい

- ・一人ひとりに個別の指導計画を作成し、その子に合った課題と手続きで指導をすすめます。
- ・一人ひとりにあった学び方が身につくようにします。
- ・コミュニケーション能力を高め、対人関係に必要なスキルを身につけ、社会性をはぐくみます。
- ・感情をコントロールできるようにします。
- ・集団のルールに沿った生活がおくれるようにします。
- ・学習や運動の苦手を軽減します。
- ・得意なところを伸ばし、自信をもたせます。
- ・児童生徒の自己決定の場を大切にし、進路についても考えられるようにします。

## 指導方法

- ・課題に応じて指導回数を決め、個別または小グループで指導を行います。
- ・保護者と指導の内容や学校での子どもの様子について相談する時間をもちます。
- ・保護者と在籍校に、子どもの理解の仕方、接し方、家庭や教室環境の工夫等を提案します。
- ・必要に応じて、在籍校に出向いてケースカンファレンスを行います。
- ・保護者、在籍校の疑問相談に応じます。
- ・指導終了後も、必要に応じてフォローアップします。



## 通級指導の一例

① 思うようにならないと、すぐいらいらし友だちとトラブルになるAさん。わがままで自分勝手だと思われ困っています。

② 担任や学校全体で、いろいろ工夫をしながら対応しましたが、なかなかうまくいきません。

③ そこで保護者と話し合い、指導2課にも報告しました。

④ 通級による指導が決まると、担当者が本人や保護者、担任等と会い、Aさんの個別の指導計画を行いました。

- ・通級→気持ちのコントロールの仕方、リラックスの仕方、集中して課題を行うことを指導します。
- ・学校→在籍する学級では、Aさんが困っていて通級指導教室に通うことを話し、理解と協力が進むよう指導します。
- ・家庭→朝気持ちよく登校できるよう時間に余裕をもつ等の工夫をします。
- ・学校/家庭→Aさんの理解とかかわり方を学びます。

⑤ Aさんは、少しずつ気持ちのコントロールができるようになっていきました。本人をほめ、クラスの協力に感謝を伝えます。

⑥ Aさんの落ち着きが増し、学校と家庭で対応できるようになりました。通級の定期指導を終了、必要に応じての相談になりました。

⑦ Aさんは、元気に学校生活を送っています。笑顔がふえ、たくさんの友だちができました。